

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／(社)鹿児島県工業倶楽部 企画・編集／広報・デザイン開発委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1 県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 http://www.ikic.or.jp E-mail:info@ikic.or.jp

2010
会報：No.45

2

平成21年度 新年大会

日時：平成22年1月23日（土）

場所：城山観光ホテル

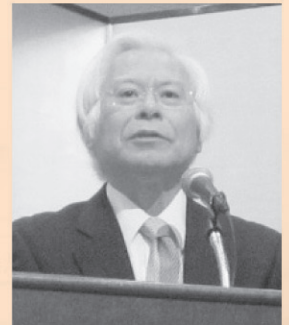


鹿児島県工業倶楽部会長
川崎暢義

平成21年度の新年大会が、1月23日（土）午後3時から、厳しい冷え込みのなか、城山観光ホテルで多数の来賓に参列いただいて盛大に開催されました。

川崎暢義会長の挨拶に続き、来賓を代表して鹿児島大学の吉田浩己学長が、工業倶楽部との連携が相互資質の向上に役立つとしたうえで、地域とともに社会発展に寄与していきたいと挨拶されました。

今年は、優良従業員表彰式が行われ、対象となる151企業の中から選ばれた11人に表彰状と記念品が授与されました。



来賓
国立大学法人鹿児島大学長
吉田浩己氏

熟練技能部門

氏名	企業名
末永 増則	カクイ㈱
地寄 誠	小鹿酒造㈱
小林 浩	㈱トヨタ車体研究所
下川床一昭	八光工業㈱

技術開発部門

氏名	企業名
野口 啓文	㈱栄電社
野口 和彦	林建設㈱
藺田 昌代	㈱フジヤマ
中村 勝博	マトヤ技研工業㈱

一般業績部門

氏名	企業名
古川日出也	鹿児島ドック鉄工㈱
福満 健太	南九州金属工業㈱
舟倉 香代	南日本マイクロコンピュータ㈱



CONTENTS

特集：平成21年度 新年大会	1～2
企業訪問	3
若者に伝えたいこと!!	4～6

(社)鹿児島県工業倶楽部 活動状況	7～8
事務局からのお知らせ	8
新会員情報・しよつんしおけ	8



新鮮で、おいしく、安全な食べ物の提供は農業者だけではできず、地元の産業(加工技術)とつながる必要がある。その産業を支えるのは地域における伝統的食文化でもある。また、産業界では中央で勝ち抜けるのは2パーセントに満たない企業で、残りの企業は地域で生き残ることになるといわれる。これらの企業が地域を守り、地域を活性化していくはずであると。

真に消費者のための農業が、地域の活性化なしには成り立ち得ないこと、それには地域産業が鍵を握ることなど、これまでにない視点からの講演は会員に大きなインパクトを与えたと思われます。

講演終了後、そのまま交流パーティに移行し、岡積副知事も加わって和やかな雰囲気の中産学官、異業種間の有意義な交流が行われました。

講師 藤田和芳 氏

講演は、NGO大地を守る会会長で、(株)大地を守る会代表取締役の藤田和芳氏を講師にお迎えし「農業ビジネスによる地域おこし」と題して行われました。大要は以下のようなものでした。

NGO大地を守る会は、有機農業運動や環境問題等に取り組み、同じ名前の株式会社は、有機農産物など安全な食べ物を玄関先まで宅配する組織で、この二つを車の両輪として動かしてきた。

無農薬、有機肥料による農業は当初相手にしてもらえず、見かけの悪い野菜は見向きもされなかったが、アトピーの子を持つ母親たちの反応などから消費者の意識が変わり始めた。また、食文化の変化や女性の社会進出などが後押ししたとも見ている。生産、流通そして消費が三位一体となることが必要であると学んだ。



来賓 鹿児島県副知事
岡積常治 氏



企 業 訪 問

中小企業人材確保推進事業の一環として、雇用管理改善等が進んでいるモデルとなるような企業を訪問し、経営者等に会社経営の理念や雇用管理の実態等を教示してもらいましたので、その一部を紹介します。(文責:事務局)

訪問日 平成21年9月11日(金)

参加者 鹿児島県工業倶楽部会員等 21名

見学企業 2社

株式会社 九州タブチ

(霧島市国分敷根120)

代表取締役社長 桑野正敬

昭和45年4月設立 資本金5000万円

従業員193名

製造品目: 給水栓、止水栓、仕切弁、継手及び水道メータユニットの開発他

経営革新活動の推進による経営の变革と自主自立型企業風土の確立

1. 経営自体を事実前提の経営(目先で起こっていることに振り回される場当りの対応)から価値前提の経営(経営理念やビジョンを達成するために何をなすべきか、何のために行うかを深く考える経営。)へ变革させた。

2. 自主・自立をテーマにした方針管理を徹底し、自主自立型の企業風土にするため、個人毎の目標管理を立て、価値観の共有活動を行うこととしている。〈工程間の在庫を無くし1人で全て扱う=組立のセル化〉

現場の知恵を引き出すしくみとして、従業員自らが職場の問題、課題に焦点をあてて自主的に研究する自主研究会をつくり、発表会を毎年開催している。

自主研究会活動に参加することが、人材育成ならびに従業員のモチベーションの維持向上のために最も有効な仕組みとなっている。

3. ES(従業員満足度)向上委員会を設置して、喫煙ブースの製作・設置、高齢者継続雇用に関する就業規則改定(法改正の2年前に先行)、健康診断へのマンモグラフィ検査の導入、インフルエンザ予防接種の実施等を実現している。委員は会社から指名するのでなく幅広く選任されている(組合はない)。
4. 人材確保のための採用のポイントとしては、安易に人を雇い、安易にやめさせるべきではないという考え方を採っており、工場見学に何回も来るなど、本当にこの会社が好きだという人を採用することとしている。

まとめ

社長の役割は、現場で陣頭指揮をとるとのことより、理念をきちんと持ち、従業員を認め、ほめてやること。また、外部の情報を収集し、会社全体を後ろから見ていて必要な軌道修正していくことであるととらえている。

マイクロカット株式会社

(霧島市国分上野原テクノパーク12-2)

代表取締役社長 高木治邦

平成15年1月設立 資本金7000万円 従業員127名

事業内容: 金属製品加工、電子機器部品加工製造、光通信部品製造

設立経緯: 現社長が現場の責任者として働いていた会社を平成15年に引継ぎ(買収)設立。

顧客満足度を高める経営と家族主義経営による雇用管理の貫徹

1. 世界最先端の標準化された加工技術を確立し、お客様の発展に貢献できる製品づくり、すなわち顧客満足度の達成を図り、利益の追求より社会貢献を目指すことを基本方針としている。
2. 毎月初めに試算表で実態把握を行うなど、生産全体を見ることができているようにしている。また、経営方針・指針を明示し、従業員に経営状態やものづくりの管理状態が分かるようにしている。
3. 成長路線をどうとるかについては、将来にわたって従業員の給料をどう稼ぐかに依っており、会社の利益はその次だとする理念を持つ。
賃金についても体系表を作成し社長の独裁性を薄める配慮をしている。また、従業員のモチベーションを上げるためマイスター制度を導入している。(鹿児島高専に依頼して技能検定試験を実施)
4. 人材確保のあり方としては、まず会社は業界のナンバーワンを目指すこととし、経営者と幹部が人材育成を図るとともに、家族主義経営で従業員を尊重する(成果主義への反省)姿勢を貫く。

採用した人は定年までいてもらい、マイクロカットにいて良かったと思う会社にしていく、すなわち従業員あつての会社で、稼げる従業員になってもらうという考えで職場定着を図ることとしている。

まとめ

7年前は前身の会社の使用人にすぎなかった自分が、使用人として味わった悲哀を感じさせたくないという思いで、自分にとっても従業員にとっても良い会社を作ろうという強い信念がある。

この会社は、客が助けてくれたお陰で今日がある。これからも必要な投資をし、競争力をつける。また、志を高く持ち、助けられた客に卑下せず、仕入先に威張らない、誠意を持った経営を心がけていく。

若者に伝えたいこと!!

鹿児島県工業倶楽部では、会員企業における人材の確保や育成・定着を支援するため、魅力ある職場づくり等を推進するとともに若者たちにもものづくりへの関心を持ってもらう事業を展開しています。

今回は技術系高校の出身で会員企業のトップとして活躍しておられる方に「若者に伝えたいこと」というテーマで寄稿してもらいました。



「夢と人生」 株式会社グッドコミュニケーションズ代表取締役 高橋 美博

「貴方には夢がありますか」答えのある人、まだ、模索中の人、まったく考えていない人

色々あるでしょう。また、「夢」なんてくだらない、今の世の中あったとしても実現できないと諦めている人も居るかもしれません。私は皆さんが人生を進めていく上で「夢」は凄く大事のものと思えます。私は高校を選択するとき将来の職業として農業を選び農業高校に進学することを希望しました。ところが父から「農業するにも大学を出てからにしろ」と言われ普通高校に一年通いました。しかし、どうしても早く農業がしたく父を説得して、また一年生から農業高校を出直し卒業と同時に農業に従事しました。農業高校時代を振り返ってみると、体育大会の仮装行列で友達にロボットの役をしてもらい、自分は社長の格好をしてロボットのコントローラーを操縦して農業をする出し物をした思い出があります。この仮装が自分の夢を表しその後の人生を暗示していたと思います。私の人生には大きな転機が2度あります。一度目はマイクロコンピューター（マイコン）に出会った時です。

農業（当時鶏を飼育）を会社組織にしたのが22歳の時でしたが、そのころマイコンに出会いカルチャーショックを受けて、これを農業に応用出来ないものかと取り組みました。鶏舎を環境制御すべくマイコンを使ってネットワークを組み、自宅や出先からコントロールするようなシステムを作りました。その結果マイコンは素晴らしい物である可能性があると理解し次ぎにマイコン使って農業生産や工業生産に役立つシステムハウスの会社を起こしました。いまで言うIT（ICTとも言う）を駆使する会社です。その後これから通信の時代だと色々実験をしている最中2回目の転機であるインターネットに出会い、これまた社会を変えていくと直感し専門会社を起こして経営している状態です。最近は農業がクローズアップされつつありますが自分のライフワークとしていた農業関係に再度今までの経験を生かせないか模索しています。この様に高校時代に自分が考えたこと「夢」が未だに人生を支配しているのを感じます。

さて、皆さんも高等、専門学校生だと思いますが改めて自分を振り返って欲しいと思います。何を思って今の学校を選択したのか、もし理不尽に選択したのであれば大変かもしれないが、自分の夢を実現する選択をし直す。また、「無い」や「あ

まり考えていなかった」のであれば、とりあえず現状をよしとして夢を描けばよいと思います。大事なことは夢を創ることです。

私の好きな言葉に「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という上杉鷹山（うえずぎ ようざん）という偉人の格言があります。これは「夢や目標があれば必ず達成できます。また、達成する必要があります。達成できないのは貴方が実現に向かって行動しないからです。」と言う意味です。

私の人生を振り返ってもそうだったように、「夢」があれば、日常にある実現する為の機会に気が付きます。あとは行動するのみです。夢を実現する為の行動は、努力とか苦労とかは私がそうだったように感じないはずです。

さあ、改め自分の夢を再確認しましょう。なければ創りましょう。そして実現の為、行動しましょう。ただ、気をつけてください「自分の幸せの為の夢」でもいいでしょう。しかし、達成した途端、空しさが訪れるかもしれません。また、途中、誰かを不幸にしたかもしれません。だからできれば「誰かの幸せに通ずる夢」を創ってください。必ず皆や誰かが応援してくれます。だって、よしする今の自分は誰かの夢の結果なのだから。

経 歴

1948年9月	生誕
1968年4月	入来町にて農業に従事
1972年6月	プロイラー生産会社（有）YTファーム 設立 代表取締役に就任
1982年8月	株式会社テクノポート設立 代表取締役に就任
1995年10月	株式会社グッドコミュニケーションズを設立 代表取締役に就任

事業概要又は会社概要

インターネットの専門会社。シナプスインターネットサービスとして南九州初の1995年11月1日よりサービスを提供。全国にサービスを提供するも鹿児島域を重点的に地域プロバイダーとして展開している。地域プロバイダーとしては、全国でも屈指のユーザーを有する。

信条または座右の銘

「不可能にチャレンジ」



「仕事が人をつくる」

若者に伝えたいこと!!

株式会社フジヤマ 代表取締役会長
藤山 敏己

21世紀も早10年が経過し2010年という区切りの年を迎えました。一昨年のリーマンショックに端を発した100年に一度の大不況は、全世界で大きな影響を及ぼし、米国GMが破綻し、あのトヨタでさえ巨額の赤字に陥りました。あらゆる経済活動が冷え込み、あらゆる業種が極めて深刻な事態に陥っています。そうした中で企業は生き残りをかけ工場閉鎖、人員削減等ありとあらゆる改革を行い、その結果多くの人が職を失い、大きな社会不安となっています。「モノが売れない」「売れないから安くする」この様なデフレが懸念される状態で、日本の経済は更に大変な状態になっていきそうです。そんな状態ですが、私は日本人はまだまだ驚愕であり、全国民の危機感は無いに等しいと感じています。

私が小学2年の時、日本は太平洋戦争に負けました。全てのモノが無くなり、食うモノも食えない貧しい状態になりました。私の家では父親が戦死し、母親が昼は農作業、夜は藁を編み、昼夜構わず働いて女手一つで私達を育ててくれました。貧しい中でわずかにとれる米もお金になるからと供出し、麦と粟、カライモを食べていました。「お金も無い」「食べ物も無い」何も無い本当に貧しい暮らしでした。この貧しい中で母親からは「人に迷惑をかける様な悪い事はするな」「怠けはダメ、人間じゃない」と言われて育ちました。貧しさから抜け出すには一生懸命勉強し、努力し立派な社会人になるしかない。早く母を楽にしてやりたいと必死でした。幸い私は幼い頃から機械が好きで農機具や三輪トラックの構造に興味を持っていました。将来は機械に携わるエンジニアになりたいという夢を持っていました。今からすれば大変貧しかったにもかかわらず、夢と希望があり、心豊かに暮らしていたと思います。

私はエンジニアになりたいという夢を実現するために工業高校に進み、その学費のために国道10号線の道路舗装工事のアルバイトをしました。今みたいな建設機械は無く、真夏の炎天下に固くなった路面をツルハシでほぐし、スコップでダンプに積む作業を1日中汗びっしょりで働きました。今の若い人なら「死にそうだ」というぐらいツライ仕事だったと思います。その後、高校を卒業して就職するのですが、その当時も大変な不況で私は何とか職にありついたという感じでした。ただ、その仕事は嘘みたいに楽でした。仕事の内容が楽だった訳ではなく、炎天下の道路工事を経験した私は屋内での仕事は全て楽に感じたのです。私は誰よりもキツイ仕事を率先して引き受け、快く残業しました。そんな訳で工場長からはすぐに気に入ってもらえました。一生懸命勉強し、仕事をしていたら、メキメキと腕を上げることが出来ました。これが何より嬉しいでした。死にそうなくらいキツイ仕事を経験した事がその後の人生には大きくプラスになったと思います。

我が社には毎年学卒の新入社員が入社して来ますが、家庭や学校で甘やかされた社員の教育には本当に苦労しています。毎日が叱咤激励の連続です。「鉄は熱いうちに打て」という言葉を日々実践しています。社員を自分の子供と思い、暖かく厳しい情熱を持って手間暇かけて徹底教育しています。厳しさが度をを超していると思う人もいるかもしれませんが、入社当時に頼りなかった新入社員が半年経つと一応まとに見えるようになり、一年もすると目違えるような立派な技術者になる姿を見てみると、私のこの姿勢が間違っていない事を確信します。だからこそ、お客様からフジヤマの若い社員は「キバレルね」「若いのに仕事ができるね」とお褒めの言葉をいただいた時は本当に嬉しくなります。ある社員の出身校の先生が見学に来られた時、その社員を見てビックリし、「学生時代だらしなくて死んだような人間がフジヤマで生き返っている」「目の色が違う、輝いている」とおっしゃいました。「どのような教育をすればこの様な人間になれるのか」とも問われました。私は「フジヤマが育てたのではなくお客様、仕事が育てたのですよ」と答えました。私達は仕事に対して「真剣」に取り組む姿勢を「真剣」に教育しているだけで、そういう姿勢で仕事をしている人間は自然とお客様にわかりがられ、それに応えるために自然と頑張る事ができ、技術だけでは無く人間として立派になる事が出来るのです。技術や資格はいくら持っていても重たくもありませんし、場所もとりません。100年に一度の厳しい時代だからこそ、自分で自分をしっかり磨き、どんな社会になろうともしっかりと生きていける人間になるように「我が事」で頑張ってください。

経歴

1937年4月18日、鹿児島県始良郡始良町に生まれる。

(奇しくも発明の日に生まれる)

1955年、鹿児島工業高等学校卒業

自動車整備士、総合病院設備担当、南日本放送の電気機械設備管理者を経て32才で独立する。

根っからの機械好きで、「ものづくり」に情熱を燃やす。

現在は「究極のものづくり」である「野菜づくり」に夢中。

事業概要又は会社概要

1969年12月 株式会社フジヤマ設立

建築設備、プラント、自動機からその電気制御、コンピューターソフト開発まで全てを自社の技術者で行う事が出来る総合エンジニアリング企業です。

信条または座右の銘

先憂後楽 : 先に苦労して後で楽しよう



「好きだからこそ」

若者に伝えたいこと!!

株式会社フォーエム 代表取締役
森 重 匡 世

毎夜、就寝するとき何となく何も考えないでフトンの中に入る人と、明日の行動、学習、段取り等を考えて寝る人を比較した場合、その人の生き方、成長に歴然と差が出ると、ある脳学者も言っていました。人間の脳は就寝中でも無意識のうちに問題解決をしてくれるのです。同じように言えるのは復習よりも予習が大事で、大学受験で合格率の高いのは予習を徹底的にした人だそうです。

また、何にでも興味を持つことも大事です。人とすれ違っても何となくすれ違うのではなく、「きれいな人」とか「素敵なファッション」とか、電車に乗っていても広告を見たり、車窓から見える風景を観察したり、視野に入ってくるいろんなものに興味を持ち、それを蓄積することで世の中の社会常識がだんだん理解できるようになります。何も考えないでボーと過ごすのは時間の無駄遣いです。その社会常識をベースにして、新たな価値を生み出していくのです。常識は破るのではなく積み重ねの連続です。

このように明日・未来のことを考え、あらゆることに興味をもって行動すれば必ず好きなものが見えてきますが、それだけに好きになるための努力は欠かせません。昔から「好きこそものの上手なれ」と言われますが、好きなことが出来る人は朝も元気に起き、すぐ行動に移れます。人も仕事も好きになる、その結果一生の仕事、人に巡り会えるのです。

私は、曾於郡の農家の8人兄弟の次男として生まれ、健康優良児でした。父親は明治生まれで、若いころ楽団を結成するような田舎では先端をいく人でした。一方では尺八、三味線、琴などを自分用に作っていました。

いま振り返ってみると、そのようなモノを作るという行為を見たことが、私にとって大変影響を受けることとなり、デザインへの道を志すベースになったのは事実です。小学校、中学校では図画工作、音楽、体育は常にトップ。高校の進学校は自分で決め、県立鹿児島工業高校工芸科に入学しました。県内ではただ一校デザイン、モノづくりが学べたのです。当時は大学進学が珍しく、おまけに兄弟の多い環境の中で大学に進学できる経済的な余裕はありません。結果として反骨精神が宿ってきたのです。

デザインを一生の仕事にしようと、就職試験はNEC系列の一部上場の通信機メーカーに入社しました。入社したもののデザイン部があるわけでもなく、18歳の若者には何もできません。しかし、昔の会社は人を育てる余裕があり、まず徹底してデザイン講習会などに参加、勉強させてもらいました。2年ぐらいいは仕事らしいことをしていません。さらに1年間、NECのデザイン部に出向させてもらい、第一線のデザイン研修を受けました。それでもまだ勉強がしたいという意欲と、大学卒の人たちに負けたくない気持ちがあり、デザイン関係では有名な桑沢デザイン研究所の夜学に

1年間通学し、デザインの基礎を学び、多くの友人も得ることが出来ました。

将来自立し自分のデザイン事務所を持ちたい夢もありましたので、11年間お世話になった通信機メーカーを退職し、友人と二人で田園調布にデザイン事務所を設立しましたが、もっと自分の夢を確実にするために、開発型中小企業の経営を学ぼうと、長野県の鋳物メーカーに自分を売り込み、入社しました。厳しい経験でしたが、ここに3年間勤務し、1978年鹿児島に帰ってきました。すでに36歳で、子供二人、家族4人のスタートでした。

大企業、中小企業、デザイン事務所をそれぞれ経験し、自分の長年の夢であったデザイン会社「株式会社フォーエム」をついに設立出来たのです。社名の由来は4M[MAN, MONEY, MATERIAL, MARKET]です。今年で設立30周年を迎えることができたのも、偏に多くの方々のご協力、ご指導の賜物と心から感謝しています。楽しいこと、厳しい経営環境など波乱万丈の人生でしたが、デザインという仕事を続けられたベースは何だったのか振り返ったとき、最初にしたように、常に前向きにいろいろなものに興味を持ち、人も仕事も好きになれたからだと思います。

いろいろな生き方、価値観があると思いますが、人間みんなが共感できる他人への思いやり、やさしさ、心の満足度を忘れないで下さい。そのためにはまず「好きになることから」。

美しい日本の未来は若いあなたたちにバトンタッチします。

経 歴

- 1942年6月26日生まれ
- ・県立鹿児島工業高等学校工芸科37年卒
- ・桑沢デザイン研究所プロダクトデザイン卒
- ・通信機メーカー、デザイン事務所、鋳物メーカーを経て1980年株式会社フォーエム設立
- ・1995年かごしまデザイン協議会設立、10年間会長職
- ・かごしまデザインフェア実行委員会会長を14年間
- ・県シンボルマーク、世界遺産屋久島シンボルマーク、南さつまシンボルマーク、肥薩オレンジ鉄道シンボルマーク
- ・世界自転車加世田大会シンボルマーク等の審査委員
- ・鹿児島県および鹿児島市の技術アドバイザー「デザイン」
- ・鹿児島商工会議所エキスパートアドバイザー「デザイン」
- ・鹿児島県景観アドバイザー

所属団体

- ・社団法人 鹿児島県工業倶楽部理事
- ・鹿児島デザイン協会前会長
- ・日本インダストリアルデザイナー協会会員

経営理念

DESIGN&BALANCE

(社)鹿児島県工業倶楽部 活動状況

委員会

人材育成委員会

2月5日(金) 17:00～ ソフトプラザかごしま1階会議室

新会員勉強会(オリエンテーション)

- ・(株)シュア・プラス
- ・(株)コレクトプラン

部会

情報ネットワーク
部会

12月16日(水) 17:00～ ソーホーかごしま 6階会議室A

①情報ネットワーク部会活動テーマ検討

- ・あらかじめ用意していた活動テーマ案(会員企業商品プレゼント企画)を紹介した。
- ・前述テーマ案についての議論と並行して他に適当なテーマがないかについて
- ・他のテーマ(iPhoneの研究等)も話題として出たが、最終的に「会員企業商品プレゼント企画」を活動テーマとした。

②「会員企業商品プレゼント企画」の内容を検討

- ・企画の精査作業として、あらかじめ決めておくべき検討事項/問題点を抽出して、その解決に向けての方策を議論。

③今後の活動

- ・企画精査作業としての検討事項/問題点に対する議論がまだ不足していると思われることから、次回開催時に引き続き議論。

1月15日(金) 17:00～ ソフトプラザかごしま 1階会議室

「会員企業商品プレゼント企画」の検討事業に対するディスカッション。

食産業部会

12月11日(金) 15:00～ 城山観光ホテル

農業法人協会と工業倶楽部食産業部会との第2回交流会

①講演 演題「食品仕入現場からみた県内農・食産業に期待すること」

～規格外農産物の有効活用も視野に入れて～

講師 日高 博昭氏 (株)山形屋 商品本部 商品部 食品仕入部長

②意見交換

プラザ

八日会

12月11日(金) 19:00～豚太郎

例会&忘年会

84プラザ

12月15日(火) 18:00～ 薩摩厨豚

検討事項 84プラザ25周年事業として…ソウル旅行

2月1日(月) 16:00～ 凧

ソウル旅行について検討

さつまプラザ・
プラザさくらじま・
福祉ビジネス
研究部会合同例会

11月25日(水) 18:00～ 鹿児島県市町村自治会館5階505号

①講演 演題 「ブログ市長と呼ばれて」

講師 竹原 信一氏 阿久根市長

②情報交換

プラザいもづる

11月20日(金) 18:30～ 鹿児島サンロイヤルホテル

- ①情報交換
- ②年末・年始の活動予定

12月11日(金) 17:00～ 鹿児島大学総合研究博物館

- 例会&忘年会
- ①鹿児島大学総合研究博物館の見学
- ②内容「博物館紹介とお話し」
- 講師 大木 公彦氏 鹿児島大学総合研究博物館長

2月12日(金) 17:30～ ホテルサンデイズイン鹿児島

- ①グッドコミュニケーションズ おもてなしチャンネル事業のご案内
- 内容「おもてなしチャンネル事業の概要」
- 講師 田中 知明氏(株)グッドコミュニケーションズ CDS事業部長
- ②グッドコミュニケーションズ おもてなしチャンネル見学
- 内容 ホテルサンデイズイン鹿児島客室内TV実機でのデモおよび見学

事務局からのお知らせ

農商工等連携
支援事業の推進

- ・農商工連携勉強会
食産業部会(12/11)、出水地区プラザ(3/19)
で開催。
- ・農商工連携先進事例見学会(3/2)
熊本市の(有)木村食品、南阿蘇村の(株)バイオテックを訪問し、事業認定の経緯や製品の内容等を見学。

人材確保推進事業の推進

- ・優良従業員表彰式(1/23)
新年大会において実施。(1面参照)
- ・パソコン研修会(2/9、2/12)
7月実施の研修参加者が多かったことから第2回目を実施。

しよつんしおけ

(焼酎の地蔵)

ハートでハートを!!

“ハート”は不思議な日本語?だ。大和言葉にはない機能を持つ。男女に関係なく、幾つになっても使用可能で、使用によって癒されこそすれ気ますぐなることもない。

その形も、幸せを呼ぶとか愛情に恵まれるとかに通じるとでも信じられているのか特に女性陣には根強い選好がある。

ハートのデザインですとか、ハートをあしらっていますとか、それだけで商品に付加価値が付いて買い手のハートを掴むのだろうか。最近では施設の名称などにも見られるし、会話の中では説得や激励にも使われる。

こんなに便利で都合の良い吉祥語は珍しいので、この“ハート”(形、概念とも)を製品作りに活かさない手はないと思うが、県内産の製品でハートをあしらってユーザーのハートを的確に射止めるようなものはないのだろうか。ハートのこもった製品には違いないのに。

だとすれば“ハート”のように、幸運を伴うとされるもので、製品作りにも都合の良い、グローバルで、しかも鹿児島らしいおまじないのような言葉や、形はないものか。

新 会 員 情 報



- 会員名 株式会社シュア・プラス
- 代表取締役 松下 英正
- 住 所 〒899-2506
日置市伊集院町清藤2038番地1
- ☎ 099-273-8765
- FAX 099-273-0739
- 業種等 製造業

FA(工場を自動化)提案を目指してきた創業から16年。新たな提案として、「小型LEDビジョン」を手掛けています「小型LEDビジョン」は、広告や情報提供を通じ、地域の活性化、異業種のマッチング等あらゆる可能性を秘めています皆様方との交流を通じ、さらに切磋琢磨し新たなモノづくりに取り組んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



- 会員名 株式会社コレクトプラン
- 代表取締役 神蘭 俊一
- 住 所 〒892-0821
鹿児島市名山町9-15
ソフトプラザかごしま503
- ☎ 099-219-194
- FAX 099-219-1942
- 業種等 情報通信、IT

Webコンテンツ作成やシステム開発をおこなっている会社です。鹿児島県の委託事業で「くろぶた.ねっと」に続き、鹿児島発のインターネットショッピングモール「ここよかねっと」を開始致しております。沢山のの方々へ鹿児島の情報をご提供することで、もっと鹿児島を好きになってもらいたい/鹿児島を元気にしたいという思いでモールを運営致します。皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。